

九州厚生局長 殿

学校法人 福岡大学
開設者名 理事長 鎌田 迪典

福岡大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	85 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	377人	91人	424.1人	看護補助者	47人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	9人	2人	9.1人	理学療法士	20人	臨床検査技師	77人
薬剤師	48人	4人	51.0人	作業療法士	8人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	4人	その他	0人
助産師	36人	0人	36.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	865人	13人	876.8人	臨床工学技士	14人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	4人	その他の技術員	21人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	1人	事務職員	135人
管理栄養士	9人	1人	10.0人	診療放射線技師	43人	その他の職員	27人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	745.9人	5.7人	751.6人
1日当たり平均外来患者数	1125.2人	44.7人	1169.9人
1日当たり平均調剤数	1024 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	45人	・膿疱性乾癬	17人
・多発性硬化症	46人	・広範脊柱管狭窄症	27人
・重症筋無力症	78人	・原発性胆汁性肝硬変	61人
・全身性エリテマトーデス	142人	・重症急性膵炎	9人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	78人
・再生不良性貧血	19人	・混合性結合組織病	17人
・サルコイドーシス	47人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	16人	・特発性間質性肺炎	34人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	81人	・網膜色素変性症	23人
・特発性血小板減少性紫斑病	55人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	19人	・肺動脈性肺高血圧症	2人
・潰瘍性大腸炎	228人	・神経線維腫症	38人
・大動脈炎症候群	15人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	8人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	10人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4人
・脊髄小脳変性症	74人	・ライソゾーム病	5人
・クローン病	134人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	11人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	248人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	1人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	8人
・後縦靭帯骨化症	104人	・肥大型心筋症	2人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(Willis動脈輪閉塞症)	56人	・ミトコンドリア病	1人
・ウェゲナー肉芽腫症	3人	・リンパ管筋腫症(LAM)	11人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	49人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	13人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	66人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高齢者の化学療法—新しい全身状態の評価基準および薬物動態に基づく治療戦略	高松 泰	腫瘍・血液・感染症内科	1,600,000	補委 日本学術振興会
乳癌患者に特有な腸管細菌叢の分子疫学的解明	高田 徹	腫瘍・血液・感染症内科	1,800,000	補委 日本学術振興会
成人T細胞白血病リンパ腫に対するインターフェロン α とジドブジン併用療法の有用性の検証	石塚 賢治	腫瘍・血液・感染症内科	1,500,000	補委 厚生労働省
ATLの診療実態・指針の分析による診療体制の整備	石塚 賢治	腫瘍・血液・感染症内科	800,000	補委 厚生労働省
ボルテゾミブによる成人T細胞白血病/リンパ腫(ATL)救援療法の医師主導治験	石塚 賢治	腫瘍・血液・感染症内科	13,000,000	補委 厚生労働省
HTLV-1キャリア・ATL患者に対する相談機能の強化と正しい知識の普及の促進	石塚 賢治	腫瘍・血液・感染症内科	200,000	補委 厚生労働省
ウイルスベクターを用いた腫瘍標的化抗体の作製と腫瘍治療法の開発	田中 俊裕	腫瘍・血液・感染症内科	1,600,000	補委 日本学術振興会
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科	35,000,000	補委 厚生労働省
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科	1,000,000	補委 厚生労働省
褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に関する研究	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科	100,000	補委 厚生労働省
創薬の可能性:新規ペプチド型合成HDLの開発	朔 啓二郎	循環器内科	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
各種アンジオテンシンII 1型受容体ブロッカーの特性を生かした新たな創薬へ向けて	三浦 伸一郎	循環器内科	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
星状神経節アブレーションを用いた新しい心不全治療の試み	小川 正浩	循環器内科	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
新規可溶性脂質輸送体を標的とした動脈硬化関連疾患の診断とその治療戦略	上原 吉就	循環器内科	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ウイルス性肝炎における最新の治療法の標準化を目指す研究	向坂 彰太郎	消化器内科	2,500,000	補委 厚生労働省
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	向坂 彰太郎	消化器内科	400,000	補委 厚生労働省
びまん性肺疾患に関する調査研究	渡辺憲太郎 (研究協力者)	呼吸器内科	400,000	補委 厚生労働省

リボ蛋白糸球体症の発症・進展に関するアポE以上とFc受容体異常との相互作用の解明	齊藤 喬雄	腎臓・膠原病内科	1,040,000	補委	文部科学省
IgG4関連腎疾患におけるT細胞の分化の解析	中島 衡	腎臓・膠原病内科	1,300,000	補委	文部科学省
先天性横紋筋融解症特異的iPS細胞を用いた新規疾患モデルの作成と治療法の開発	安野 哲彦	腎臓・膠原病内科	2,080,000	補委	日本学術振興会
Perry(ペリー)症候群の診断、及び治療方法の更なる推進に関する研究	坪井 義夫	神経内科・健康管理科	1,000,000	補委	厚生労働省
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	坪井 義夫	神経内科・健康管理科	1,600,000	補委	厚生労働省
パーキンソン病関連遺伝子DCTN1の機能	坪井 義夫	神経内科・健康管理科	600,000	補委	文部科学省
摂食・嚥下機能低下がみられた脳血管疾患患者への介護予防の為に前向き介入研究	坪井 義夫	神経内科・健康管理科	100,000	補委	文部科学省
アルツハイマー病前駆段階の血清学的診断とビタミンDによる進行阻止法の開発	坪井 義夫	神経内科・健康管理科	100,000	補委	文部科学省
性同一性障害に対するホルモン療法が心理・認知機能に及ぼす影響について	永井 宏	精神神経科	400,000	補委	文部科学省
児童青年精神科領域における診断・治療の標準化に関する研究	西村 良二	精神神経科	700,000	補委	厚生労働省
ヒトてんかんの遺伝子改変モデル動物の作出と革新的治療の開発	廣瀬 伸一	小児科	5,500,000	補委	日本学術振興会
新規モデル動物(キックイン)を用いててんかんの発症阻止に挑む	廣瀬 伸一	小児科	2,200,000	補委	日本学術振興会
精神遅滞を伴う難治性てんかんの発症を分子病態に基づき予防する	廣瀬 伸一	小児科	1,550,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構
カスタムメイド疾患モデル用キックインマウスの実用化に向けた改良研究	廣瀬 伸一	小児科	1,550,000	補委	科学技術振興機構(JST)
脳形成異常を主とする発達機能障害の病因・病態と治療に関する研究	廣瀬 伸一(分担)	小児科	3,000,000	補委	厚生労働省
JNK抑制による川崎病冠動脈瘤に対する退縮治療法の開発	吉兼 由佳子	小児科	1,300,000	補委	日本学術振興会
炎症性動脈瘤形成症候群の新規診断バイオマーカーの開発と診断基準の作成	吉兼由佳子(分担)	小児科	200,000	補委	厚生労働省
小児交互性片麻痺の分子病態の解明	石井 敦士	小児科	1,560,000	補委	日本学術振興会
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第III相臨床研究	井上 亨	脳神経外科	1,000,000	補委	厚生労働省
神経皮膚症候群に関する調査研究	中山 樹一郎	皮膚科	1,000,000	補委	厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の抑止とその治療	中山 樹一郎	皮膚科	900,000	補	厚生労働省

研究題目	研究員	所属科	予算額(円)	委員	所属機関
難治性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	中山 樹一郎	皮膚科	150,000	補委	厚生労働省
卵巣癌を対象とした分子標的治療薬BK-UMの臨床開発	宮本新吾	産婦人科	32,800,000	補委	文部科学省
卵巣原発の難治性明細胞腺癌治療におけるHB-EGFの標的分子としての意義	宮本新吾	産婦人科	2,600,000	補委	文部科学省
子宮内膜症の線維化・癌化における治療標的分子としてのRCAS1の意義	城田京子	産婦人科	2,100,000	補委	文部科学省
癌分子標的治療薬適応基準判定のための診断的ミニアレイの開発	辻岡 寛	産婦人科	910,000	補委	文部科学省
子宮内膜症の線維化・癌化に対する標的分子治療薬としてのRCAS1の意義	城田京子	産婦人科	1,000,000	補委	平成23年度臨床研究奨励基金
がん標的分子RCAS1の発現制御機構に関する研究	城田京子	産婦人科	620,000	補委	推奨研究プロジェクト
アデノウイルス眼感染症の新しい薬物治療の開発と臨床応用に関する研究	内尾英一	眼科	1,300,000	補委	文部科学省
急性未熟児網膜症に対する抗血管内皮細胞増殖因子療法の臨床的検討	林英之	眼科	1,300,000	補委	文部科学省
対話型進化論的計算による人工内耳フィッティング技術の開発と解析	中川 尚志	耳鼻咽喉科	4,810,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
MR計算画像T2*及びT2mapによる生体肝内鉄の非侵襲的評価とその臨床応用	吉満研吾	放射線科	1,300,000	補委	文部科学省 基盤研究(C)
MRIおよびCT画像による筋・肝脂肪量の評価の研究	吉満研吾	放射線科	1,000,000	補委	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
神経筋疾患患者の嚥下障害の進行と最大舌圧値の推移	梅本 丈二	歯科口腔外科	550,000	補委	日本歯科医学会 平成22年度プロジェクト研究費
ビスフォスフォネート系薬剤関連顎骨壊死(BRONJ)に対する超音波と酸化チタンを併用した新しい治療法の開発	高橋 宏昌	歯科口腔外科	300,000	補委	平成23年度九地連 公募研究事業助成金
酸化チタンと超音波を併用した新しい口腔癌治療補うの開発	高橋 宏昌	歯科口腔外科	1,700,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構産学連携展開部研究成果最速展開支援プログラム(A-STEP)探索タイプ
フラーレンによる遺伝子導入を用いた変形関節症の新規治療法の開発	大谷 泰志	歯科口腔外科	1,300,000	補委	文部科学省 科学研究費 研究活動スタート支援
インフルエンザにおける麻黄湯の自然免疫賦活作用に関する検討	鍋島 茂樹	総合診療部	1,200,000	補委	文部科学省
MT1-MMPおよびMT1-MMPと相互作用する分子群によるがんの悪性形質獲得の分子機序の解明と臨床応用	鍋島一樹	病理部	1,000,000	補委	平成23年度東京大学 医科学研究所共同 研究拠点事業
胸膜悪性中皮腫組織標本におけるp16(9p21)遺伝子欠失の同定(FISH法)	濱崎 慎	病理部	500,000	補委	臨床研究奨励基金
				補委	

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anticancer Research (31:2483-2488, 2011)	Antitumor effects of CRM197, a specific inhibitor of HB-EGF, in T-cell acute lymphoblastic leukemia.	工並 直子	腫瘍・血液・感染症内科
Antimicrob Agents Chemother (55(4): 1819-20, 2011)	Vancomycin bactericidal activity as a predictor of 30-day mortality in patients with methicillin-resistant Staphylococcus aureus bacteremia.	高田 徹	腫瘍・血液・感染症内科
Diabetes Res Clin Pract.(95(2):e27-8, Feb, 2012)	Contributing factors related to efficacy of the dipeptidyl peptidase-4 inhibitor sitagliptin in Japanese patients with type 2 diabetes.	野見山 崇	内分泌・糖尿病内科
内分泌・糖尿病・代謝内科 (33(5):506-512, 11月, 2011)	多施設医事会計データのレトロスペクティブ解析による経口糖尿病治療薬グリメピリドのジェネリック医薬品に関する臨床的有用性の検討	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科
J Renin Angiotensin Aldosterone Syst (12:320-325, 2011)	Significance of pigment epithelium-derived factor levels with angiotensin II type 1 receptor blockers in patients with successful coronary stent implantation.	杉原 充	循環器内科
Journal of Cardiology. (57(2):187-193, 2011)	Angiographic late lumen loss at the site of overlap of multiple Cypher™ sirolimus-eluting stents: ALSOCIE study.	高宮 陽介	循環器内科
Circulation Journal (75(4):791-799, 2011)	Impact of Glycemic Control on the Clinical Outcome in Diabetic Patients With Percutaneous Coronary intervention - From the FU-Registry -.	池 周而	循環器内科
Circulation Journal(75:1493-1505, 2011)	Randomized Head-to-Head Comparison of Pitavastatin, Atorvastatin, and, Rosuvastatin for Safety and Efficacy (Quantity and Quality of LDL) - The PATROL Trial -.	朔 啓二郎	循環器内科
J of Clinical Hypertension(13(3):198-204, 2011)	Association Between Hypertension and coronary Artery Disease as Assessed by Coronary Computed Tomography.	光武 良晃	循環器内科
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis (18(7):574-583, 2011)	Serum Levels of Bilirubin as an Independent Predictor of Coronary In-Stent Restenosis: A New Look at an Old Molecule.	桑野 孝志	循環器内科
J Int Med Res (39(3):880-890, 2011)	Significance of Plasma Levels of Pigment Epithelium-derived Factor as Determined by Multidetector Row Computed Tomography in Patients with Mild Chronic Kidney Disease and/ or Coronary Artery Disease.	志賀 悠平	循環器内科
Biochem Biophys Res Commun (411:305-311,2011)	Possibility of increasing cholesterol efflux by adiponectin and its receptors through the ATP binding cassette transporter A1 in HEK293T cells.	北島 研	循環器内科
Intern Med (50:1889-1894, 2011)	Association between plasma pigment epithelium-derived factor levels and tissue characteristics of coronary plaque using integrated backscatter intravascular ultrasound.	岩田 敦	循環器内科
Cardiol J (18:515-520, 2011)	Association Between plasma levels of pigment epithelium-derived factor and renal dysfunction in patients with coronary artery disease.	有村 忠聰	循環器内科
Atherosclerosis (218:300-307, 2011)	Antiatherogenic effects of newly-developed apolipoprotein A-I mimetic peptide/ phospholipid complexes against aortic plaque burden in Watanabe-heritable hyperlipidemic rabbits.	岩田 敦	循環器内科
Coronary Artery Dis (22:451-457, 2011)	Determination of the cut-off plasma adiponectin level associated with a lower risk of restenosis in patients with stable angina.	三戸 隆裕	循環器内科
Intern Med (50(21):2477-2483, 2011)	Comparison of the efficacy and safety of Single-pill fixed-dose combinations of Losartan / hydrochlorothiazide and Valsartan / hydrochlorothiazide in patients with hypertension (SALT-VAT study).	志賀 悠平	循環器内科

小計

International Journal of Cardiology (149(1):120-122, 2011)	Lower frequency of non-target lesion intervention in post-successful percutaneous coronary intervention patients with an LDL to HDL cholesterol ratio below 1.5.	福田 佑介	循環器内科
アルコールと医学生物学 (30,120-123,2011.4)	非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)においてγ-GTPは酸化的ストレスマーカーになりうるか?	入江 真	消化器内科
Can J Gastroenterol. (2011 Jul;25(7):365-7.)	Diagnostic value of endoscopic and endoscopic ultrasound characteristics of duodenal submucosal tumour-like heterotopic gastric mucosa.	江口 浩一	消化器内科
消化管の臨床 (17,101-106,2011)	当センターにおけるcollagenous colitis症例の臨床的検討	阿部 光市	消化器内科
Respiratory Investigation(50(3):88-97,2012)	Rapid decrease in forced vital capacity in patients with idiopathic pulmonary upper lobe fibrosis.	渡辺 憲太郎	呼吸器内科
Clin Exp Nephrol. (15(1):25-29, 2011)	Aggravation of diabetic nephropathy in OLETF rats by Thy-1.1 nephritis.	渡辺 真徳	腎臓・膠原病内科
Clin Exp Nephrol (15(4):493-503, 2011)	Japan Renal Biopsy Registry: the first nationwide, web-based, and prospective registry system of renal biopsies in Japan.	斎藤 喬雄	腎臓・膠原病内科
Clin Exp Nephrol (15(5):615-626, 2011)	Proposal for diagnostic criteria for IgG4-related kidney disease.	斎藤 喬雄	腎臓・膠原病内科
日腎会誌 (53(2):78-122, 2011)	ネフローゼ症候群の診療指針	斎藤 喬雄	腎臓・膠原病内科
日腎会誌 (53(8):1062-1073, 2011)	IgG4関連腎臓病診療指針	斎藤 喬雄	腎臓・膠原病内科
Histopathology. (Feb;58(3):395-407, 2011)	Pathological and immunohistological findings and genetic aberrations of intestinal enteropathy-associated T cell lymphoma in Japan.	小河原 悟	腎臓・膠原病内科
Br J Dermatol. (Jun;164(6):1214-20, 2011)	T cell-specific overexpression of interleukin-27 receptor α subunit (WSX-1) prevents spontaneous skin inflammation in MRL/lpr mice.	中島 衡	腎臓・膠原病内科
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 (15:324-331, 2011)	パーキンソン病患者に対する脳深部刺激療法での嚥下機能に及ぼす影響について 3例の経験から	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
老年歯科医学 (26:339-345, 2011)	レビー小体型認知症患者の摂食・嚥下障害 改訂版長谷川式簡易知能評価スケールとの関連について	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
Eur J Neurol (18:106-113, 2011)	Dietary intake of antioxidant vitamins and risk of Parkinson's disease: a case-control study in Japan.	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
Parkinsonism Relat Disord (17:112-116, 2011)	Lack of association of dairy food, calcium, and vitamin D intake with the risk of Parkinson's disease: a case-control study in Japan.	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
Dysphagia (26:250-255, 2011)	Impaired food transportation in Parkinson's disease related to lingual bradykinesia.	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
J Neurol Sci (306(1-2):98-102, 2011)	Dietary intake of metals and risk of Parkinson's disease: a case-control study in Japan.	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
Parkinsonism Relat Disord (17:446-450, 2011)	Intake of Japanese and Chinese teas reduces risk of Parkinson's disease.	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
BMC Neurology (11: 83, 2011)	Occupational risk factors for Parkinson's disease: a case-control study in Japan.	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
J Neural Transm (118: 1335 -1344, 2011)	APOE and CYP2E1 polymorphisms, alcohol consumption, and Parkinson's disease in a Japanese population.	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
Mov Disord (26:399-406, 2011)	The impact of non-motor symptoms on health-related quality of life of patients with Parkinson's disease.	坪井 義夫	神経内科・健康管理科

BMC Neurol (25;11:89, 2011)	Genetic polymorphisms involved in dopaminergic neurotransmission and risk for Parkinson's disease in a Japanese population.	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
Neurology (78(10):762-4, 2012)	Autosomal dominant tauopathy with parkinsonism and central hypoventilation.	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
Clinical Neuroscience (29(3):282-284, 2011.)	認知症の合併症とその治療	福原 康介	神経内科・健康管理科
内科 (107(5) 843,2011)	【変わりゆくパーキンソン病診療 早期診断から進行期患者の治療まで】パーキンソン病を治療する パーキンソン病の外科的治療 脳深部刺激術(DBS)	樋口 正晃	神経内科・健康管理科
Clinical Neuroscience (29: 539-541, 2011)	パーキンソン病治療-New Standards 非運動症状への対応 消化器症状	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
最新医学 (66:1025-1031, 2011)	【中枢神経系感染症のUp-To-Date】プリオン病に対する治療法の開発	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
難病と在宅ケア (17: 15-17, 2011)	【進行性核上性麻痺医療の現況】[第3部]難治性腰痛を伴う進行性核上性麻痺 疼痛と運動症状に対する脊髄刺激療法の効果	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
Japanese J Adoles Psychiatry (21(1) : 20-31 2011)	児童・思春期の気分障害の予後や経過について	西村 良二	精神神経科
臨床老年看護 (18(2)45-52, 2011)	精神疾患のある高齢者をケアする上での心得	尾籠 晃司	精神神経科
精神科 19 (1)(77-82, 2011)	転換性障害の経過中にレビー小体型認知症を発症した1例	進藤 太郎	精神神経科
精神看護14(6) :11-25, 2011)	自殺予防には人材教育が不可欠！当院の自殺予防人材養成プログラムの要点を具体的に紹介します	衛藤 暢明	精神神経科
EMERGENCY CARE24(11;29-36, 2011.)	自殺企図者へのアプローチ シーン別アプローチ ② 入院、帰宅、転院調整および他職種との連携編	衛藤 暢明	精神神経科
九州精神神経学会 (57(2); 125-127, 2011.)	救命救急センターに搬送された自殺企図者に関してリエゾン精神科医が直面する問題点、私のカルテから。	衛藤 暢明	精神神経科
Journal of pharmacological sciences. (07/2011; 116(3):316-20. (IF: 2.18) @3)	Yokukansan enhances pentobarbital-induced sleep in socially isolated mice; possible involvement of GABA(A)-benzodiazepine receptor complex.	内田 直樹	精神神経科
Psychiatry investigation. (03/2011; 8(1):67-70.)	Pervasive developmental disorders and autism spectrum disorders: are these disorders one and the same?	内田 直樹	精神神経科
2011. 精神経誌. (epub S85-90. @2)	我が国の精神医学大学院教育への提言	内田 直樹	精神神経科
Research in Autism Spectrum Disorders (vol.5:277-285,2011)	Parvocellular pathway impairment in autism spectrum disorder: Evidence from visual evoked potentials.	藤田 貴子	小児科
Brain Dev (vol.33(1):45-48,2011)	A long-term survival case of arginase deficiency with severe multicystic white matter and compound mutations.	瀬川 芳恵	小児科
Seizure (vol.20(7);583-585,2011)	Diagnosing nocturnal frontal lobe epilepsy: A case study of two children.	友納 優子	小児科
日本内視鏡外科学会誌 (16(3):291-298 2011)	ESD困難症例に対する内視鏡的胃全層切除術 (CLEAN-NET)の臨床経験	塩飽 洋生	消化器外科
別冊整形外科(59:64-67, 2011)	鏡視下足関節固定術の骨癒合に及ぼす影響因子	吉村 一郎	整形外科
Monthly Book Orthopaedics24(4):(1-7,2011)	一次性OAの要因としてのfemoroacetabular impingement	竹山 昭徳	整形外科

整形外科(62(8):836-840, 2011)	Femoroacetabular impingementを合併した臼蓋形成不全股に対するosteochondroplasty併用のcurved periacetabular osteotomy.	中村 好成	整形外科
肩関節(35(2):597-599, 2011)	長期透析患者の肩関節障害に対する手術成績	伊崎 輝昌	整形外科
Hip Joint(37:519-522, 2011)	F-S stemを用いた人工股関節全置換術の短期成績	小林 知弘	整形外科
Hip Joint(37:795-797, 2011)	人工股関節全置換術後cup anteversionの評価単純X線軸射像とCTの比較	野村 智洋	整形外科
Hip Joint(37:801-803, 2011)	寛骨臼回転骨切り術における吸収性スクリューの固定性	加島 伸浩	整形外科
Hip Joint(37:804-806, 2011)	臼蓋形成不全とFemoroacetabular impingementとの関係	田中 洋継	整形外科
Hip Joint(37:832-835, 2011)	Curved periacetabular osteotomyにおける臼蓋荷重部(sourcil)延長の検討	井田 敬大	整形外科
Hip Joint(37:891-893, 2011)	強直股関節に対する人工股関節全置換術の治療成績	坂本 哲哉	整形外科
Hip Joint(37:925-927, 2011)	高位脱臼股におけるTHAの合併症と臨床成績	黒田 大輔	整形外科
整形外科と災害外科(60(4):744-746, 2011)	足関節外果骨折に対するtension band wiringによる治療経験	中村 厚彦	整形外科
整形外科と災害外科(60(4):760-762, 2011)	足関節内遊離体に対する鏡視下遊離体摘出術の治療経験	萩尾 友宣	整形外科
肩関節(35(3):837-840, 2011)	腱板断裂肩と健常肩における位置覚の検討	萩尾 友宣	整形外科
J Shoulder Elbow Surg(21:77-81, 2012)	Elastofibroma dorsi: diagnostic and therapeutic algorithm.	西尾 淳	整形外科
Current Orthopaedic Practice(22(2):171-175, 2011)	Prevention of obturator artery injury during pubic osteotomy in periacetabular osteotomy.	木下 浩一	整形外科
ONCOLOGY REPORTS(27:764-768, 2012)	Cytogenetic and molecular cytogenetic findings in giant dedifferentiated liposarcoma of the thigh.	西尾 淳	整形外科
J Hand Surg Am(37:68-71, 2012)	Arthroscopic Removal of an Intra-Articular Osteoid Osteoma of the Radial Styloid.	西尾 淳	整形外科
OS NOW Instruction(21:50-56, 2012)	変形性足関節症(足関節OA)に対する関節固定術一鏡視下法とopen法一	吉村 一朗	整形外科
日本肘関節学会雑誌(18(2):124-127, 2012)	尺骨肘頭骨折に対するPlate固定法の検討	村岡 邦秀	整形外科
整形外科と災害外科(61(1):71-75, 2012)	小児橈骨遠位1/3骨幹部骨折に対するplate固定の検討	村岡 邦秀	整形外科
骨折(33(4):939-943, 2011)	下肢骨折術後感染症例の検討	金澤 和貴	整形外科
日本足の外科学会雑誌(32(2):12-15, 2011)	足関節骨折後腓骨変形癒合の治療経験	金澤 和貴	整形外科
Arch Orthop Trauma Surg(131:1723-1729, 2011)	Hip abductor muscle strength after total hip arthroplasty with short stems.	鎌田 聡	整形外科

小計

Cancer Genet(201:569-571, 2011)	Translocation t(2;11) is characteristic of collagenous fibroma (desmoplastic fibroblastoma).	西尾 淳	整形外科
J.Spine Res.2:(1971-1977,2011)	腰椎転移性胸腺腫の1例	小林 達樹	整形外科
後十字靭帯損傷膝の自然経過—後十字靭帯再建例の検討より—(54(11):1327-1331, 2011)	後十字靭帯損傷膝の自然経過—後十字靭帯再建例の検討より—	佐伯 和彦	整形外科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc(19(8):1233-8, 2011)	Evaluation of rotational instability in the anterior cruciate ligament deficient knee using triaxial accelerometer: a biomechanical model in porcine knees.	前山 彰	整形外科
日本人工関節学会誌(41:604-605, 2012)	80歳以上の高齢者におけるセメントレス人工股関節全置換術の短期成績	加島 伸浩	整形外科
日本人工関節学会誌(41:612-613, 2012)	Medical-Protrusio Techniqueを用いたセメントレス人工股関節置換術の治療経験	井田 敬大	整形外科
The Journal of Foot & Ankle Surgery(51:76-79,2012)	Myxoid Liposarcoma of the Ankle: A Case Report.	西尾 淳	整形外科
Genet Res Int2011:(497148, 2011)	Cytogenetics and molecular genetics of myxoid soft-tissue sarcomas.	西尾 淳	整形外科
Ann Plast Surg.(67(4),p372-5,2011.10)	Bilayer reconstruction for parr-y-romberg syndrome: using a free circumflex scapular artery-based adipofascial flap for both the buccal fat pad and subcutaneous fat.	大山 拓人	形成外科
Acta Neurochirurgica Sup. (112:77 - 83, 2011)	Surgical Treatment for Aneurysms in the Cavernous petrous Portion of the Internal Carotid Artery.	安部 洋	脳神経外科
Eur J Neurology (18(11):1299-1303, 2011)	Effect of chronic kidney disease on excessive daytime sleepiness in Parkinson disease.	安部 洋	脳神経外科
Pediatr Int (53(3):412-413, 2011)	Measuring quality of care using quality indicator for infants <3 months old with fever.	上羽 哲也	脳神経外科
Science MED (2(5):533 - 534, 2011.)	Severe head injuries among Judo players in Japan: 27 years survey in junior and senior high school.	重森 裕	脳神経外科
STROKE (42:1596 - 1601, 2011)	A Topographic Study of the Evolution of the MR DWI/PWI Mismatch Pattern and Its Clinical Impact A Study by the EPITHEI and DEFUSE Investigators.	緒方 利安	脳神経外科
Neurosurgery (68(6):334 - 338, 2011)	Endoscopic extradural anterior clinoidectomy via supraorbital keyhole; A cadaveric study.	小松 文成	脳神経外科
Journal of Neurosurgery (50(4):291 - 296, 2011)	Endoscopic supraorbital extradural approach to the cavernous sinus: a cadaver study.	小松 文成	脳神経外科
Intern Med (50(4):291 - 296, 2011)	Prognosis of medical treatment for Japanese patients with carotid stenosis.	緒方 利安	脳神経外科
Cerebrovasc Dis. (31(5):494-8, 2011)	Outcomes associated with carotid pseudo-occlusion.	緒方 利安	脳神経外科
Cerebrovasc Dis. (31:64 - 67, 2011.)	Correlation between the Degree of Left Subclavian Artery Stenosis and the Left Vertebral Artery Waveform by Pulse Doppler Ultrasonography.	緒方 利安	脳神経外科
Neurosurgery (70:157 - 161, 2012)	Endoscopic reconstruction of the middle cranial fossa through a subtemporal keyhole using a pedicled deep temporal fascial flap: a cadaveric study.	小松 文成	脳神経外科
脳卒中 (33(1):9-16, 2011)	脳出血急性期の至適血圧についての検討	緒方 利安	脳神経外科

小計

日本老年医学会誌 (48(12):686 - 690, 2011)	脳内出血患者における深部静脈血栓の発生部位とD-dimer値の関連についての検討	緒方 利安	脳神経外科
脳神経外科 (39(6):563 - 568, 2011)	頸動脈内膜剝離術におけるICG蛍光血管撮影を用いたブランク遠位端の確認とそのpitfall	大川 将和	脳神経外科
Thorac cardiovasc Surg (Vol 59 416-420, 2011)	Histological evaluation of skeletonized internal thoracic artery using forceTriad™.	伊藤 信久	心臓血管外科
化学療法領域 (27(7):1686-1696, 2011)	小児の皮膚感染症に対するクラバモックス小児用ドライシロップの臨床評価 伝染性膿痂疹を中心に	今福 信一	皮膚科
Fukuoka Igaku Zasshi (102(7):229-236, 2011)	Various skin manifestations of mycosis fungoides: histopathological features and prognosis.	古賀 文二	皮膚科
J Dermatol (38(6):622-624, 2011)	A case of infantile herpes zoster in an infant born to a mother infected with varicella at 7 weeks of pregnancy.	出口 絵美	皮膚科
Ultrason Sonochem (18(5):1218-1224, 2011)	Synergistic inhibition of malignant melanoma proliferation by melphalan combined with ultrasound and microbubbles.	松尾 美希	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌 (121(10), 2059-2064, 2011)	皮膚原発のランゲルハンス細胞肉腫—ランゲルハンス細胞組織球症と比較した臨床学的検討—	古賀 文二	皮膚科
J Dermatol (38(10):1006-1009, 2011)	Cranial fasciitis resembling infantile fibrosarcoma differentiated by genetic assay.	今福 信一	皮膚科
日本レックリングハウゼン病学会雑誌 (2(1):57-59, 2011)	レックリングハウゼン病のカフェオレ斑のNB-UVB照射による色調の変化について	森 竜樹	皮膚科
感染症学雑誌 (Vol 85(4)360-365, 2011.7)	日本全国から分離された淋菌の抗菌薬感受性に関する調査	田中 正利	泌尿器科
Sexually Transmitted Diseases (Vol 38(9)871-875, 2011.9)	Antibiotic-Resistant Phenotypes and Genotypes of Neisseria gonorrhoeae Isolates in Japan: Identification of Strain Clusters With Multidrug-Resistant Phenotypes.	田中 正利	泌尿器科
臨床と研究 (Vol 88(11)1426-1430, 2011.11)	前立腺炎の診療の実際	古屋 隆三郎	泌尿器科
腎移植・血管外科 (Vol 23(1)75-78, 2011.12)	尿管膀胱新吻合術後に再発した両側膀胱尿管逆流症レシピエントへの腎移植	中村 信之	泌尿器科
Transplant Proc (Vol 44(1)150-153, 2012.1)	Experiences of high-dose mizoribine as antimetabolite immunosuppressants for kidney transplantation.	中村 信之	泌尿器科
Medical Technology Vol 40(3)(258-262, 2012.3)	特集 性感染症Update-- 検査・診断・治療の最新知見 各論:性感染症の検査・診断・治療の実際 淋菌感染症	田中 正利	泌尿器科
Current Opinion in Obstet Gynecol (23:24-30, 2011)	Targeting the heparin-binding epidermal growth factor-like growth factor in ovarian cancer therapy.	辻岡 寛	産婦人科
Cancer Sci (102:452-459, 2011)	Metronomic irinotecan chemotherapy combined with ultrasound irradiation for a human uterine sarcoma xenograft.	長沼 康子	産婦人科
Cancer Sci (102:111-116, 2011)	Proteolytic activation of heparin-binding EGF-like growth factor by membrane-type matrix metalloproteinase-1 in ovarian carcinoma cells.	四元 房典	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res (37:775-781, 2011)	Impact and issues of detecting fetal congenital heart defects in Kyushu, Japan.	吉里 俊幸	産婦人科
Anticancer Res (31:2553-2560, 2011)	Assessment of HB-EGF levels in peritoneal fluid and serum of ovarian cancer patients using ELISA.	疋田 祥子	産婦人科
Cancer Sci (102 : 1542-1552, 2011)	Metronomic doxifluridine chemotherapy combined with the anti-angiogenic agent TNF-470 inhibits the growth of human uterine carcinosarcoma xenografts.	長沼 康子	産婦人科

小計

Clin Cancer Res (17:6733-6741, 2011)	A Novel Anti-Human HB-EGF Monoclonal Antibody with Multiple Anti-Tumor Mechanisms Against Ovarian Cancer Cells.	宮本 新吾	産婦人科
J Reprod Med (56:224-234, 2011)	Clinical usefulness of contrast-enhanced color doppler ultrasonography in invasive and noninvasive gestational trophoblastic diseases: A preliminary study.	江本 精	産婦人科
J Pregnancy Article ID (965060, 2011)	Magnesium sulfate as a second-line tocolytic agent for preterm labor: A randomized controlled trial in Kyushu Island.	瓦林 達比古	産婦人科
J Med Ultrasonics (38:151-155, 2011)	Determinants of surgical repair of patent ductus arteriosus in low-birth-weight infants.	吉里 俊幸	産婦人科
Fertil Steril (95: 2729-2731, 2011)	Involvement of anticentromere antibody in interference with oocyte meiosis and embryo cleavage.	城田 京子	産婦人科
Anticancer Res (31:2461-2465, 2011)	A possible clinical adaptation of CRM197 in combination with conventional chemotherapeutic agents for ovarian cancer.	辻岡 寛	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res (37:897-900, 2011)	Uterine inversion due to a leiomyoma on postpartum day 41: a case report.	城田 京子	産婦人科
眼科臨床紀(4(8):796-800,2011)	手術用汎用吸引管を用いた膨潤マイラゲルの除去	荒木 陽子	眼科
臨床眼科(65(12):1819-1825, 2011)	急性網膜壊死の治療成績	尾崎 弘明	眼科
臨床眼科(24:219-222, 2011)	黄斑円孔を合併した乳頭小窩を伴わない黄斑部網膜分離症の1例	ファン ジェーン	眼科
日本眼科学会雑誌 (115(7): 602-610,2011)	肥厚性硬膜炎による視神経症の3例 日本眼科学会雑誌	高橋 理恵	眼科
臨床眼科(65(8): 1225-1229,2011)	重症未熟児網膜症に対しベバシズマブ硝子体内投与を行った症例の検討	有田 直子	眼科
アレルギーの臨床 (31:928-929, 2011)	当科における涙液用免疫グロブリンEキットの使用経験	小沢 昌彦	眼科
臨床眼科(65(8): 1319-1323,2011)	感染性心内膜炎を契機に発症した両眼の前部虚血性視神経症の1例	大門 佳奈美	眼科
Clin Exp Ophthalmol(39: 358-363, 2011)	Anti-adenoviral effect of interferon-beta and interferon-gamma in serotypes that cause acute keratoconjunctivitis.	内尾 英一	眼科
新薬と臨床 (60(5): 994-998, 2011)	ミリプラチンリビオドール [®] 懸濁液の加温効果	高良 真一	放射線科
HEPATOCELLULAR CARCINOMA (p89-104, InTech, Croatia, 2012)	Signal intensity characteristics of liver masses at hepatobiliary phase images of gadoxetate-enhanced MR (EOB-MR): Qualitative assessment.	坂本 桂子	放射線科
European Journal of Radiology (81(3): e304-e309, 2012)	Characterization of carotid atherosclerosis with black-blood carotid plaque imaging using variable flip-angle 3D turbo spin-echo: Comparison with 2D turbo spin-echo sequences.	高野 浩一	放射線科
臨床皮膚科 (65(11): 913-919, 2011)	急性帯状疱疹痛の自己評価: 帯状疱疹患者アンケート調査結果(続報)	比嘉 和夫	麻酔科
ISRN Anesthesiology 2011: (Article ID 685758, 4 pages)	Sevoflurane Induction Shortens the Onset of Vecuronium at the Corrugator Supercilii Muscles: A Randomized Comparison with Propofol Induction.	仁田原 慶一	麻酔科
ISRN Anesthesiology 2011: (Article ID 298983, 3 pages)	Comparison of the Neuromuscular Profile of the First Dorsal Interosseous Muscle and the Flexor Hallucis Brevis Muscle as Measured by Electromyography.	杉 恭之	麻酔科

小計

麻酔 (60(12): 1416-1418, 2011)	麻酔科医の使用薬物の管理	櫻井 静佳	手術部	
ISRN Anesthesiology 2012: (Article ID 676823, 3 pages)	Medial Approach to the Sciatic Nerve at the Popliteal Fossa in the Supine Position with Ultrasound Guidance and Nerve Stimulator.	矢嶋 智明	麻酔科	
JOURNAL OF THE KOREAN ASSOCIATION OF ORAL AND MAXILLOFACIAL SURGEONS	Sedative methods used during extraction of wisdom teeth in patients with a high level of dental anxiety.	瀬戸 美夏	歯科口腔外科	
The Journal of the Kyushu Dental Society (65(1):6-12, 2011 July)	The Effectiveness of Gabapentin for Severe Mandibular Pain in Stage 2 Patients with Bisphosphonate-related Osteonecrosis of the Jaw : Report of 3 cases.	瀬戸 美夏	歯科口腔外科	
Oral Science International (8:17-19, 2011)	Gabapentin therapy in patients with orofacial neuropathic pain: Report of 12 cases.	瀬戸 美夏	歯科口腔外科	
自己血輸血 (24(1):41-45 2011)	顎矯正術時の貯血式自己血輸血	瀬戸 美夏	歯科口腔外科	
J Oral Pathol Med (41: 96-105, 2012)	Local effects of intra-articular injection of anti-rabbit tumor necrosis factor alpha monoclonal antibody in antigen-induced arthritis of the rabbit temporomandibular joint.	大谷 泰志	歯科口腔外科	
日本歯科麻酔学会雑誌 (40(1):25-30,2012)	口腔外科手術時の新旧STAIによる不安度予測と静脈内鎮静法に関する検討	瀬戸 美夏	歯科口腔外科	
Pediatr Surg Int (27 : 99-102, 2011)	A case of cystic biliary atresia with an antenatally detected cyst: the possibility of changing from a correctable type with a cystic lesion (I cyst) to an uncorrectable one (IIIc).	増本 幸二	産婦人科	
こどもケア(6(2) :57-63, 2011.)	異常のサインを見逃すな！【小児・新生児呼吸器疾患看護のポイント】気胸。	中村 晶俊	総合周産期母子医療センター	
周産期医学(41(5) :681-684,2011.)	Methimazole内服中の母体より出生した新生児臍腸瘻の1例	中村 晶俊	総合周産期母子医療センター	
J Dermatol vol.29 (10-11,2011)	Persistent cutaneous neonatal herpes caused by Herpes simplex virus-2.	太田 栄治	総合周産期母子医療センター	
J Infect Chemother(2012) 18:(534-543 DOI 10.1007/s10156-012-0378-7)	A randomized,controlled trial comparing traditional herbal medicine and neuraminidase inhibitors in the treatment of seasonal influenza.	鍋島 茂樹	総合診療部	
Histopathology. (59(1):159-161, 2011)	Immunohistochemical analysis of laminin 5- γ 2 chain expression for differentiation of basal cell carcinoma from trichoblastoma.	濱崎 悠	病理学・病理部	
Int J Oncol. (39(3):657-664, 2011)	Synthetic emmprin peptides inhibit tumor cell-fibroblast interaction-stimulated upregulation of MMP-2 and tumor cell invasion.	古賀 佳織	病理学・病理部	
BMC Cancer (11:300, 2011)	Synthetic emmprin peptides with chitobiose substitution stimulate MMP-2 production by fibroblasts.	川上 豪仁	病理学・病理部	小計
日本臨床細胞学会雑誌 (50(5): 270-278, 2011)	乳腺原発の悪性リンパ腫の13例における細胞学的小および免疫組織化学の検討	小島 勝己	病理部	
臨床病理 59巻6号、(559~564、2011)	福岡大学病院におけるHBV再活性化指標としてのB型肝炎ウイルス関連検査実施状況	松崎 友絵	臨床検査部	小計
				計

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 山下 裕一		
管理担当者氏名	庶務課長 菊池 孝志	医療管理課 藤井 直彦	
	医事課長 青柳 征一	医療情報部事務室長 金森 勝俊	
	薬剤部長 二神 幸次郎	放射線部技師長 稲富 孝治	

	保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	庶務課、医療情報部、放射線部、薬剤部、手術部、看護部、臨床検査部、病理部	・平成21年8月5日から、入院診療録、外来診療録とも電子カルテシステムの運用を開始。電子カルテシステムは全て患者登録番号で管理。紙での保管を要する診療記録については、電子カルテシステム稼働以前と同じ保管形式を採用。電子カルテシステム稼働以前の入院診療録は、入院期間毎に作成され、カード・ディジット方式にて分類保管。外来診療録は、各科共通として患者ごとに作成され、登録番号順に保管。入院診療録は最終来院日から20年間、外来診療録は15年間保管。入院診療録の病歴データは病歴管理システムの部門サーバに保存。 処方せん：薬剤部内で保管し2年を経過後月単位で廃棄 薬剤管理指導記録：PICS（薬剤管理指導支援システム）から電子カルテに送信、各患者カルテに保管。同記録はPICS上でも確認可能。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	庶務課
	高度の医療の提供の実績	医療管理課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	庶務課
	高度の医療の研修の実績	庶務課
	閲覧実績	庶務課 医療情報部
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療管理課 医療情報部
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療管理課 医事課 薬剤部
第規一則号第一に掲げる十体一制第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		先進医療実績報告（帳票管理） 平成23年年間紹介率集計表（帳票管理） 入院患者日報・月報・年報 外来患者日報・月報・年報（帳票管理） 医療安全管理部にて一括管理 以下項目、上記と同じ

の一項 確保各 の号状 及び 第九 条の二 十三第 一項	医療機関内における 事故報告等の医療に係 る安全の確保を目的と した改善のための方策 の状況	医療安全管理 部	感染制御部にて管理 医療安全管理部にて一括管 以下項目、上記と同じ
	専任の医療に係る安 全管理を行う者の配置 状況	医療安全管理 部	
	専任の院内感染対策 を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理 を行う部門の設置状況	医療安全管理 部	
	当該病院内に患者から の安全管理に係る相談 に適切に応じる体制の 確保状況	医療安全管理 部	

		保管場所	分類方法	
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	規則第一 条の十一 第一項各 号及び第 九条の二 十三第一 項第一号 に掲げる	院内感染のための指 針の策定状況	庶務課及び感染制御部にて管理 以下項目、上記と同じ	
		院内感染対策のため の委員会の開催状況		庶務課、感染 制御部
		従業者に対する院内 感染対策のための研修 の実施状況		庶務課、感染 制御部、医療 安全管理部
		感染症の発生状況の 報告その他の院内感染 対策の推進を目的とし た改善のための方策の 実施状況		庶務課、感染 制御部
		医薬品の使用に係る 安全な管理のための責 任者の配置状況	薬剤部	薬剤部にて一括管理 以下項目、上記と同じ
		従業者に対する医薬 品の安全使用のための 研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用の ための業務に関する手 順書の作成及び当該手 順書に基づく業務の実 施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用の ために必要となる情報 の収集その他の医薬品 の安全使用を目的とし た改善のための方策の 実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用 のための責任者の配置 状況	臨床工学セン ター	臨床工学センターにて一括管理 以下項目、上記と同じ	

体制の確保の状況	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学センター
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務長 江崎 和雄
閲覧担当者氏名	庶務課長 菊池 孝志、医事課長 青柳 征一 医療情報部事務室長 金森 勝俊
閲覧の求めに応じる場所	病院B会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	1件
閲覧者別	医師	延	1件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.2%	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		13,820人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,677人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,535人
	D: 初診の患者の数		26,386人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容：1. 安全管理に関する基本的考え方 2. 安全管理のための委員会及び院内の組織に関する基本事項 3. 安全管理のための職員研修に関する基本方針 4. 安全確保を目的とした改善策を講ずるための基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 下記参照 回
・ 活動の主な内容： 1. 医療安全管理委員会 (月 1 回) 3. セーフティマネージャー会 (月 1 回) 2. 医療安全管理部小委員会 (月 2 回) 4. 医療安全カンファレンス (週 1 回)	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 2 回
・ 研修の主な内容：別紙参照 (平成 2 3 年度 安全管理のための職員研修一覧)	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 医療事故・合併症・重要なインシデント事例の検討・医療安全教育の企画・医療相談窓口で対応した事例について毎週医療安全カンファレンスを開催している。 2. 医療安全管理者が抽出したインシデント事例を医療安全管理部小委員会で検討し、改善を要するものはセーフティマネージャー会を通じ、伝達している。また、全職員にコンピュータ上で会議資料を公開し、安全管理・危機管理意識の向上に努めている。 3. 医療安全管理部長又は医療安全管理者は、事故・インシデント・合併症発生時など、必要に応じ当事者、当該部署と個別に対応し指導する。特に重要事例に関しては、検討会を開いて、迅速な対応を心掛けている。 4. 病院全体の問題として取り上げる必要がある事例は、医療安全管理委員会に提言し、安全管理の改善に役立てる。 5. 「安全管理レポート」(毎月)と「医療安全情報」(適時)を発行し、全職員にフィードバックおよび周知徹底を図っている。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員：専任 (6) 名 兼任 (3) 名 ・ 活動の主な内容：《医療の安全管理》以下 7 項目 1. 安全管理に係る会の運営 2. 医療事故発生時の対応 3. 医療安全に係る連絡調整 4. 医療事故防止に向けた内部監査 5. インシデント報告・アクシデント報告の分析 6. 安全管理に関する教育・研修 7. 安全管理レポート・医療安全情報の発行 《医療の安全管理》以下 4 項目 1. 治療上の問題に関する事柄 2. 入院及び退院に関する事柄 3. 生活面及び経済的な問題に関する事柄 4. 相談内容に応じた関係部署及び関係機関との連絡調整に関する事柄	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

平成23年度 安全管理のための職員研修一覧

開催日	内 容	講 師	対 象	参加 人員	場 所
2011/4/22	情報セキュリティ	志村英生 (医療情報部長)	全職種	1,314	RI講義棟
2011/5/19	医療現場の手指衛生と接触予防策	橋本文代 (感染制御部部長)	全職種	1,379	RI講義棟
2011/6/16	平成22年度報告 1)インシデント報告	1)前田知恵美 (医療安全管理者)	全職種	1,124	RI講義棟
	2)疑義照会	2)鷺山厚司 (医薬品安全管理責任者)			
2011/6/29	性犯罪等の被害防止対策、護身術訓練	福岡県警、早良警察署	全職種	930	RI講義棟
2011/7/22	医療コンフリクト・マネジメント	吉本諱爾 (聖マリア病院認定医療メディエーター)	全職種	957	RI講義棟
2011/8/19	自殺予防教育	衛藤暢明 (精神神経科 講師)	全職種	906	RI講義棟
2011/9/22	薬剤耐性菌制御の原則	飯沼由嗣 (金沢医科大学 臨床感染症学講座教授)	全職種	1,139	RI講義棟
2011/10/12	1)インスリン療法	野見山崇 (内分泌・糖尿病内科 准教授)	全職種	969	RI講義棟
	2)輸血療法	熊川みどり (輸血部 准教授)			
2011/11/22	帯状疱疹の予防	比嘉和夫 (麻酔科 教授)	全職種	1,038	RI講義棟
2012/1/10	病院における睡眠薬服用と転倒事故を考える	荒木博陽 (愛媛大学医学部附属病院 薬剤部長)	全職種	781	RI講義棟
2012/2/10	免疫抑制・化学療法によるB型肝炎ウイルス再活性化とその対策	早田哲郎 (消化器内科 准教授)	全職種	881	RI講義棟
2012/3/22	1)外来進捗状況の見える化	志村英生 (医療情報部長)	全職種	384	RI講義棟
	2)経済学部生が待ち時間をKAIZEN	吉田尚悟、犬童麻美 (福岡大学 経済学部学生)			
—			合計	11,802	

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策に関する基本的考え方2. 院内感染対策のための委員会及び院内の組織に関する基本事項3. 感染対策に関する教育・研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. 院内感染発生時の対応6. 感染対策指針の閲覧に関する基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 感染対策委員会(1回/月)2. 感染制御部会議(1回/月)3. セーフティマネジャー会議(1回/月)4. 看護部部内感染対策委員会(1回/月)	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 平成23年 5月19日 「医療現場の趣旨衛生と接触予防策」講師：橋本文代(感染制御部看護師長)2. 平成23年 9月22日 「薬剤耐性菌感染制御の原則」 講師：飯沼 由嗣(金沢医科大学臨床感染症学教授 院外)3. 平成23年11月22日 「帯状疱疹の予防」講師：比嘉和夫(麻酔科診療部長 院内)4. 平成24年 2月10日 「免疫抑制・化学療法時におけるB型肝炎ウイルスの再活性化とその対策」 講師：早田哲郎(消化器内科)	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 1回/週ICT(ICD, ICN, 最近検査技師, 薬剤師)が病棟ラウンドを行い、体制菌サーベイランスを実施する。病棟ラウンドに際しては、資料(細菌検査室で全部署2週間分の分離菌一覧表、薬剤部で抗MRSA使用患者一覧表、カルバペネム系抗菌薬使用患者一覧表、ICNが病棟別体制菌検出患者一覧表、ラウンドシート)を準備する。2. 1回/2カ月ICNとリンクナースが病院全部署の環境ラウンドを実施し、書面で結果をフィードバックし、関連会議で報告する。3. 感染対策システム(電子カルテ端末上)で毎日、血管培養陽性者、抗酸菌陽性者、新規多剤耐性菌検出患者等の報告を確認する。4. 院内感染を疑う場合には、感染制御部内で連携し、関連部署と調整し、対応する。5. 行政への報告対応が必要な場合は、感染対策危機管理委員会を招集し、事態の收拾を図る。6. アウトブレイク等問題が発生した部署については、当該部署のスタッフを対象に研修会を開催する。7. アウトブレイク介入事例については、病院職員にたいして、電子カルテ端末上で通知診療部長会及びセーフティマネジャー会を通して感染対策について周知徹底を図る。	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 13回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">麻薬の返品について東日本大震災による医薬品への影響についてプラザキサ錠適正使用情報ワーファリンの相互作用薬剤耐性菌制御の原則（全体教育）（外部講師）インスリン療法（全体教育）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (有・無)業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none">○医薬品の採用；薬事委員会において採用可否審議（薬剤部は事務局）、医薬品安全管理責任者は委員として参加○医薬品の管理；期限管理等を確認表を用いて各部署にて確認。月単位で医薬品安全管理責任者が確認。新規の重点管理薬に対しての手順策定など。○患者に対する医薬品の投薬時から調剤までに關する事項；ハイリスク薬品の調剤手順に従って調剤等を行う。（病棟巡回などで確認）○患者に対する与薬や服薬指導に關する事項；バーコードによる3点認証導入。薬剤管理指導の推進（持参薬管理から退院時指導まで）○医薬品情報の収集・管理・提供；医薬品情報室による情報収集と必要に応じた情報の提供推進。特に安全性にかかわる情報の発信○他施設との連携；持参薬管理による持ち込み医薬品の確認。退院時指導による入院中使用する医薬品、副作用等の情報をおくすり手帳を介して提供する体制作り。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) 薬剤部医薬品情報室が中心となって収集作業を行う。その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">○溶解液付の点眼液名称に（溶解液付）を表示○手術部におけるディプリバンキットの取り扱いを変更（術後はアンプルのみ使用）	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 6 7 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 新しい医療機器導入時研修 8 回 安全使用のための研修・学会・医療機器セミナー 5 9 回：主な内容は、シリンジ・輸液ポンプの安全使用、酸素療法機器、人口呼吸器、血液浄化装置、生体情報モニター、除細動器、保育器、電気メス、低圧持続吸引器、補助循環装置、麻酔器、大動脈内バレーンポンプ装置	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (有・無)保守点検の主な内容： 人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、シリンジポンプ、輸液ポンプ、麻酔器、低圧持続呼吸器、放射線関連装置、病棟・外来関連機器：12誘導心電計、テレメータ、ベッドサイドモニター、パルスオキシメータ、内視鏡センター関連機器	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容： 情報収集：医薬品医療機器総合機構、日本臨床工学技士会、日本医療機能評価機構による安全情報の収集、メーカーによる安全情報の収集。 情報の周知：院内セーフティマネージャー会による周知 院内オーダーリング画面上に安全情報の掲載 医療機器の安全使用：臨床工学技士の研修、医療従事者への説明会	